

研究課題名:急性骨髄性白血病に対するキロサイド®、ペプシド®少量持続点滴療法(AV療法)の有用性に関する後方視的検討

研究責任者の氏名

病院長代理 血液・腫瘍内科 鶴見 寿

共同研究者の氏名

血液・腫瘍内科 原 武志、李 心、藤田 慧、若山悠人

研究の概要

近年高齢者急性骨髄性白血病患者に対してアザシチジン、ベネトクラクス、ギルテリチニブ、キザルチニブ等新規薬剤が保険適応となり、高齢者急性骨髄性白血病患者に対する治療選択肢が増加しています。我々は以前、通常の化学療法施行困難な急性骨髄性白血病患者に対する治療としてキロサイド®、ペプシド®少量持続点滴療法の有用性を報告しました。今回当院でキロサイド®、ペプシド®少量持続点滴療法を受けられた患者さんの情報を検討することによってキロサイド®、ペプシド®少量持続点滴療法の有用性を確認したいと思えます。

研究対象者

2018年4月1日～2022年4月30日までに、血液・腫瘍内科においてキロサイド®、ペプシド®少量持続点滴療法を受けられた患者さん

利用する情報

全身状態、末梢血算(白血球数、好中球数 ANC:桿状核球+分節核球、リンパ球数、ヘモグロビン、血小板数)、血液生化学(アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、クレアチニン、ナトリウム、カリウム、空腹時血糖、CRP)、自覚症状(CTCAEv4.0-JCOG)、造影 CT(造影剤アレルギー等により施行できない場合、単純 CT)

利用する者:鶴見 寿、原 武志、李 心、藤田 慧、若山悠人

個人情報管理者:血液・腫瘍内科 原 武志

研究期間:2023年3月31日まで

研究資金源及び利益相反に関する事項:

本研究では松波総合病院の自己研究費を使用します。本研究の結果および結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反はありません。また、本研究を行うことによって研究に参加いただいた方々の権利・利益を損ねることはありません。

連絡先

松波総合病院 血液・腫瘍内科 原 武志

電話:(058)388-0111(平日:9時30分～17時00分)

ファックス:(058)388-4711